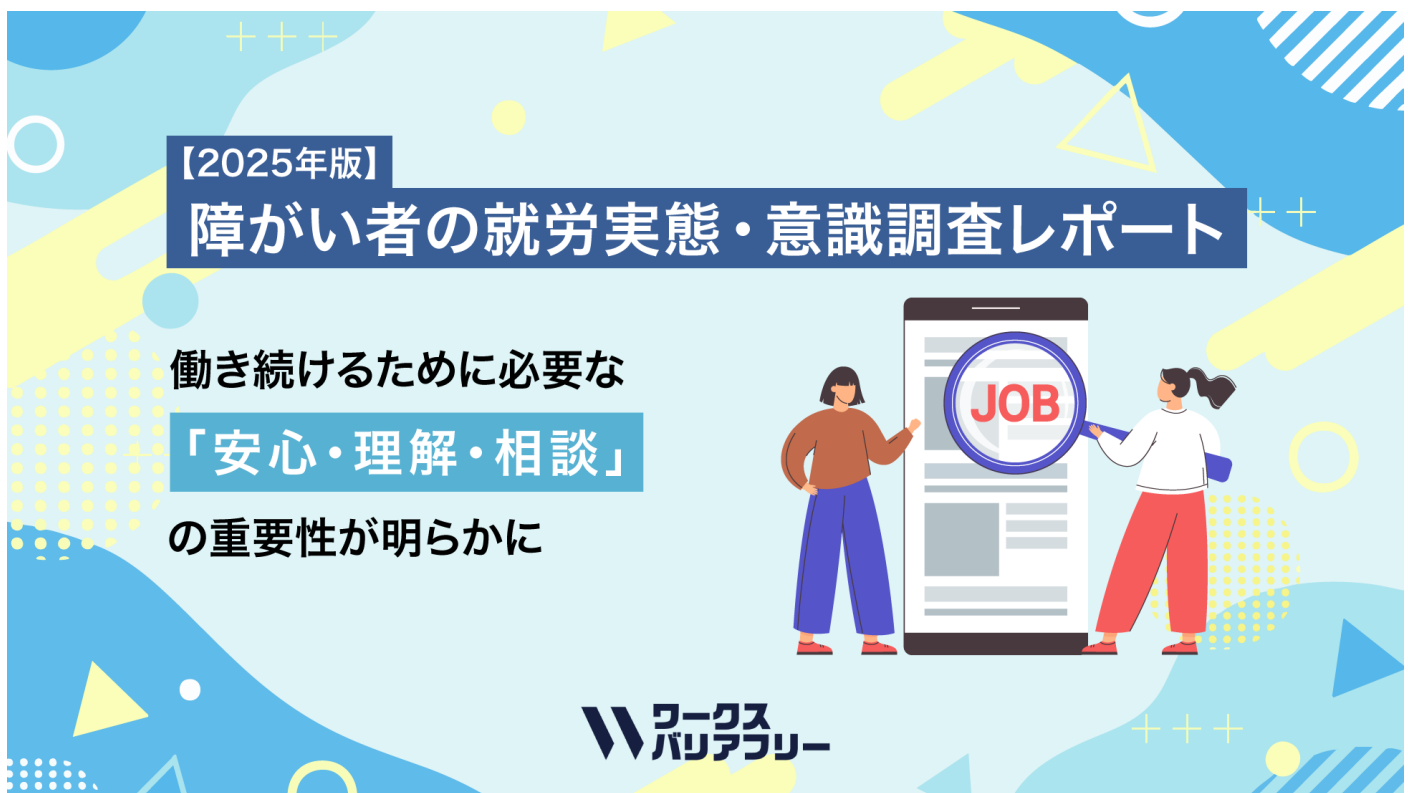


**障がい者の働き方調査 2025****最も求められていたのは“安心・理解・相談”。企業が答えるべき次の一手。**

人材事業、WEB 事業、海外医療事業などを中心に、M&A 事業やスポーツ事業など多角的に事業を展開する株式会社 DYM（読み：ディーワイエム、本社：東京都品川区、代表取締役社長：水谷佑毅）のグループ会社である株式会社ワークスバリアフリー（本社：東京都立川市、代表取締役：矢島 辰哉）は、就労中の障がい者 93 名より、働く中で感じる課題や理想の職場像についてアンケート調査の回答を得ました。

本調査では、障がい者の働きづらさの背景や、より良い就労環境に必要な要素が浮き彫りとなりました。

**【調査概要】**

調査対象：ワークスバリアフリーで就業中の障がい者 220 名

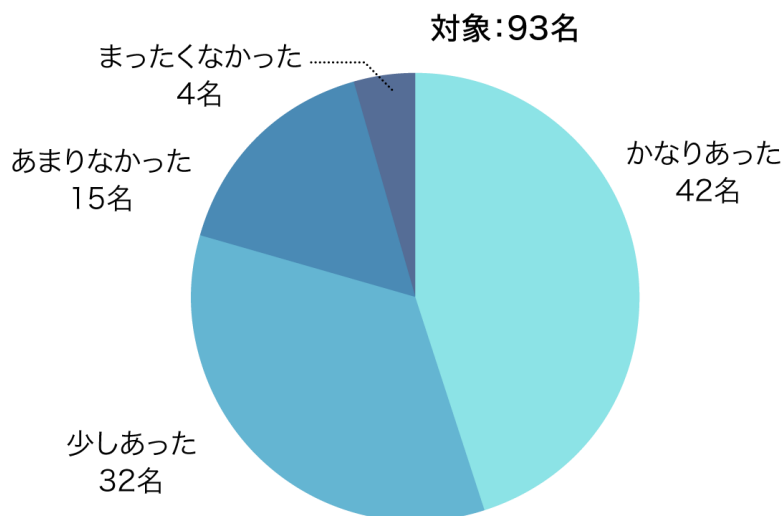
調査期間：2025 年 10 月 27 日(月) ~ 2025 年 10 月 31 日(金)

調査方法：アンケートフォームによる調査

有効回答数：93 名

## ■約 8 割が障がい「就労に影響があった」と回答

これまで、障がいがあることで「就職活動」や「職場での勤務」に影響があったと感じたことはありますか？（単一回答）



### 【調査概要】

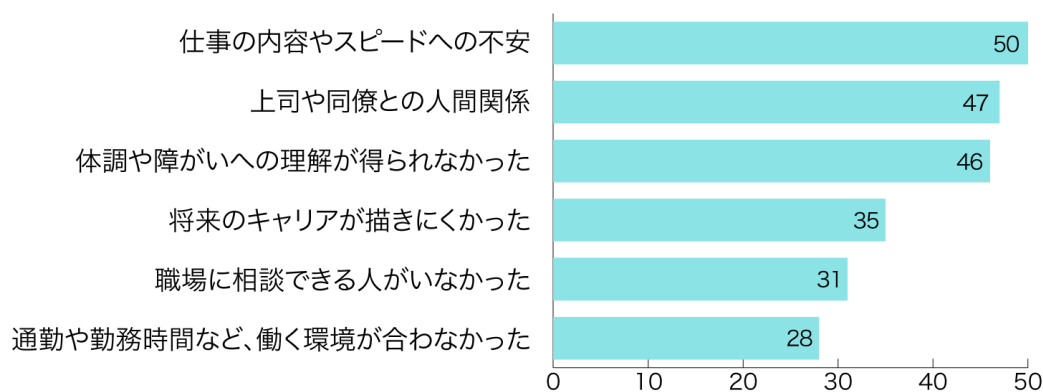
調査対象：ワークスバリアフリーで就業中の障がい者 220名  
調査期間：2025年10月27日(月)～2025年10月31日(金)

調査方法：アンケートフォームによる調査  
有効回答数：93名

「障がいによる就職・就労への影響」について尋ねたところ、「かなりあった」と回答した人が 42 名、「少しあった」と回答した人が 32 名で、全体の 79.6%（74 名）が「影響があった」と回答。就職活動や働き方において、障がいにより何らかのハードルを経験している実態が浮き彫りになりました。

## ■困難の上位は「人間関係」「業務内容」「理解不足」

障がいがあることで、働く上でどのような影響を感じましたか？（複数回答）



### 【調査概要】

調査対象：ワークスバリアフリーで就業中の障がい者 220名  
調査期間：2025年10月27日(月)～2025年10月31日(金)

調査方法：アンケートフォームによる調査  
有効回答数：93名

働くうえで困難を感じた点（※複数回答可）を伺ったところ、上位は以下の通りでした。

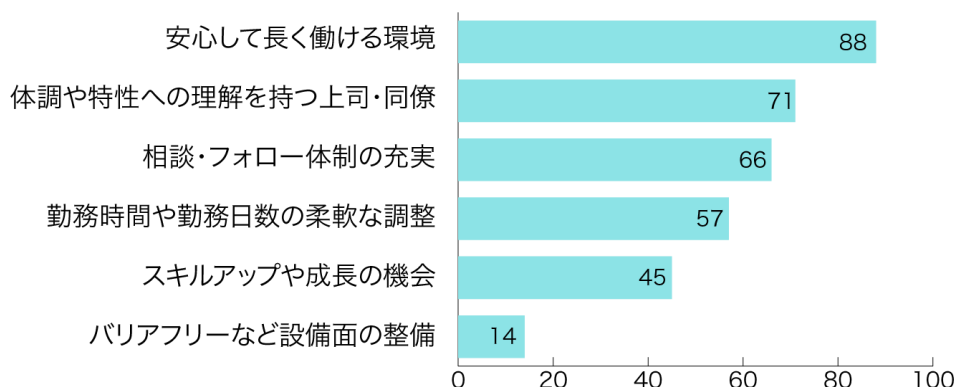
- ・仕事の内容・スピードへの不安：53.8%（50 名）
- ・上司・同僚との人間関係：50.5%（47 名）
- ・障がいへの理解不足：49.5%（46 名）

いずれも“本人のスキル”ではなく、**職場側の受け入れ環境やコミュニケーションに起因する項目が中心**となりました。自由記述では、

- ・強い薬を服用していたときは眠気が強く、勤務態度が悪いと思われがちだった
  - ・面接で伝えた配慮事項や障がい特性が職場に共有されず、即戦力として成果を求められた
  - ・マルチタスクの業務が苦手で、急かされるとかえってミスなどが多くなる
- など、**理解不足や環境要因による働きづらさ**が多く挙げられました。

## ■理想の職場像は「安心して働ける場所」

理想的な職場に求める配慮・サポートとして、  
あてはまるものを教えてください。（複数回答）



### 【調査概要】

調査対象：ワークスバリアフリーで就業中の障がい者 220名  
調査期間：2025年10月27日(月)～2025年10月31日(金)

調査方法：アンケートフォームによる調査  
有効回答数：93名

理想の職場に求める点（複数回答可）では、最も多かったのは

- ・安心して長く働ける環境：94.6%（88名）

続いて、

- ・体調や特性への理解ある上司・同僚：76.3%（71名）
- ・相談・フォロー体制：71.0%（66名）

**“安心・理解・相談”** できる環境へのニーズが特に高い結果となりました。

自由記述では、

- ・働く場所の選択肢が増えると良い
- ・よりスキルアップを目指す機会を増やして欲しい
- ・気軽に相談できる環境の整備をしてほしい
- ・社内コミュニケーションをとれる仕組みを増やしてほしい

といった声上がり、働く場所の柔軟性やスキル向上の機会、気軽に相談できる体制、コミュニケーションの仕組みなど、安心と成長を支える環境づくりを求める声が多く上がりました。

## ■ワークスバリアフリーでは、働き続けられる環境づくりを推進

ワークスバリアフリーでは、アンケートで明らかになった“安心・理解・相談できる環境”へのニーズに応えるため、

- ・採用支援
- ・就労環境の整備
- ・定着支援

を **一貫して提供**しています。

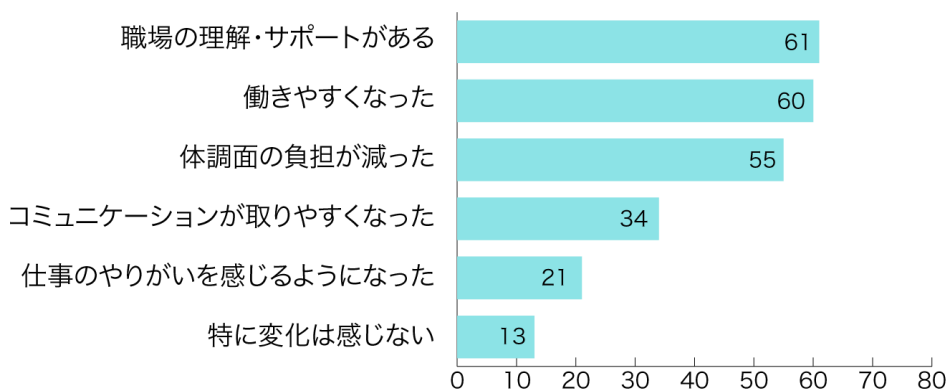
サテライトオフィスには、様々な障がい特性に精通した専門スタッフが常駐。配慮が必要なポイントや業務上のつまづきを早期にキャッチし、働きやすさを継続的にサポートします。また、集中しやすいレイアウトや音・光への配慮など、特性に合った職場環境を整備。安心して業務に向き合える環境づくりに取り組んでいます。

さらに、企業と求職者の間に立ち、特性に合わせた業務の切り出しや、活躍しやすい業務フロー設計を支援。DYMグループがこれまで培ってきた人材・業務オペレーションのノウハウを活かし、企業側の生産性向上と求職者の定着支援を同時に実現します。

また特性に合わせ、面談・相談、スキル・キャリア支援を行うなど、「働ける」だけでなく「働き続けられる」ための支援を強化しています

## ■利用者からは“前向きな変化”の声が多数

現在のサテライトオフィス勤務において、以前の職場（または就労経験）と比べて変化を感じる点を教えてください。（複数回答）



### 【調査概要】

調査対象：ワークスバリアフリーで就業中の障がい者 220名  
調査期間：2025年10月27日(月)～2025年10月31日(金)

調査方法：アンケートフォームによる調査  
有効回答数：93名

サテライトオフィスで働く利用者（回答者 93 名・複数回答可）からは、以前の職場と比べて以下のような変化が報告されています。

- ・働きやすくなった：64.5%（60 名）
- ・体調面の負担が減った：59.1%（55 名）
- ・職場の理解・サポートがある：65.6%（61 名）
- ・コミュニケーションが取りやすくなった：36.6%（34 名）
- ・仕事のやりがいを感じるようになった：22.6%（21 名）
- ・特に変化は感じない：13.9%（13 名）

働きやすさ、理解・サポート、体調面など、日常に直結する項目で“何らかの改善があった”と回答した人が85%以上にのぼり、ワークスバリアフリーの取り組みが、利用者の“働くうえでの安心感”につながっていることがうかがえる結果となりました。

## ■代表取締役 矢島からコメント

この度の利用者満足度アンケートで、85%以上の方が「何らかの改善があった」と回答されたことを、大変嬉しく、また誇りに思います。特に「働きやすさ」や「職場の理解・サポート」において高い評価をいただいたことは、私たちが目指す「働くうえでの安心感」の提供に繋がっている証だと確信しております。

しかし、まだ変化を感じていない方もいらっしゃいます。私たちはこの結果に満足することなく、いただいた貴重

な声を真摯に受け止めます。今後は、個々の特性に応じた業務の創出、より質の高いコミュニケーション支援を通じて、すべての利用者が「やりがい」と「成長」を感じられる、さらに進化したサテライトオフィスサービスを実現してまいります。

### ■ワークスバリアフリー 会社概要

株式会社ワークスバリアフリーは、多角的な事業展開を行う DYM グループの事業の中でも、障がいをお持ちの求職者様と採用活動に課題をお持ちの企業様の懸け橋となるべく設立されました。障がいをお持ちの方々が幅広く活躍できる機会創出に貢献します。

会社名：株式会社ワークスバリアフリー

代表取締役：矢島 辰哉

資本金：3,000 万円

設立：2022 年 9 月 27 日

本社所在地：東京都立川市柴崎町二丁目 3 番 18 号 糸川第二ビル 5 階

登録免許

一般労働者派遣 派 13-316904

有料職業紹介 13-コ-315347

URL：<https://worksbarrierfree.jp/>

### ■株式会社 DYM 会社概要

(1)商号：株式会社 DYM

(2)代表取締役社長：水谷 佑毅

(3)設立年月：2003 年 8 月

(4)資本金：5000 万円

(5)売上高：258 億円（21 期）、324.6 億円（22 期）

(6)本店所在地：〒141-0032 東京都品川区大崎 1-11-2 ゲートシティ大崎イーストタワー10 階

(7)従業員数：連結 2,744 名（2025 年 4 月 1 日現在）

(8)事業内容：WEB 事業、人材事業、研修事業、エグゼパート事業、海外医療事業、M&A 事業 等

(9)URL：<https://dym.asia/>

«本件に関する報道関係のお問い合わせ»

株式会社 DYM 広報担当 塩田

TEL: 03-5745-0200 FAX: 03-3779-8720

E-Mail: [pr@dym.jp](mailto:pr@dym.jp) URL: <https://dym.asia/>